

# 令和2年度 全県教育課程説明会 「生活科」部会（小学校）

## 1 各教科の改訂のポイント

【前学習指導要領（平成20年告示）教科目標】

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

【改訂の要点】

【前学習指導要領上の課題】

- ・具体的な活動を通じた思考力等の発揮についての検討
- ・幼児期と小学校低学年で育成される資質・能力のつながり
- ・教育課程全体を視野に入れた学校全体でのスタートカリキュラムの取組
- ・中学年の各教科等への接続の明確化

### ①改訂の基本的な考え方

幼児期の教育、低学年の各教科等、中学年以降の学習とのつながりを踏まえ、育成する資質・能力（特に「思考力、判断力、表現力等」）が具体的になるよう見直し

### ②目標の改善

「身近な生活に関する見方・考え方」を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを明確化

### ③内容構成の改善

学習内容を「学校、家庭及び地域の生活に関する内容（1）～（3）」、「身近な人々、社会及び自然とかわかる活動に関する内容（4）～（8）」、「自分自身の生活や成長に関する内容（9）」の三つに整理

### ④学習内容、学習指導の改善・充実

- ・「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの多様な学習活動を重視
- ・入学当初において、生活科を中心とした合科的・関連的な指導などの工夫（スタートカリキュラム）を行うことを明示

【現学習指導要領（平成29年告示）教科目標】

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然や特徴のよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能の基礎〕
- (2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。〔思考力、判断力、表現力等の基礎〕
- (3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕

## 2 学習評価について

(1)「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順（参考→国立教育政策研究所資料 P26～P30）

- ①内容のまとめりの記述を[A 学習活動][B 思考力、判断力、表現力等の基礎][C 知識及び技能の基礎][D 学びに向かう力等、人間性等]の4つの要素に分けます。
- ②学習活動に関わる要素[A]を文の初めに置き、そこに3つの資質・能力[B、C、D]に関わる文を続けます。
- ③3つの資質・能力[B、C、D]に関わる文が、「～している」という意味になる表現に変えます。

#### 例：内容(7) 動植物の飼育・栽培

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して[A]、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ[B]、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに[C]、生き物への親しみをもち、大切にしようとする[D]。

↓ 内容のまとめりごとの評価規準へ

##### ○知識・技能

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して[A]、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている[C]。

##### ○思考・判断・表現

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して[A]、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている[B]。

##### ○主体的に学習に取り組む態度

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して[A]、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている[D]。

#### (2) 「単元ごとの学習評価」について（参考→国立教育政策研究所資料 P34～P37）

- ①単元を構成する内容について、学習指導要領の記載事項を確認します。
- ②学習対象や活動に即して、**単元の目標を作成**します。
- ③単元の目標の記述を[A **学習活動**] [B **思考力、判断力、表現力等の基礎**] [C **知識及び技能の基礎**] [D **学びに向かう力等、人間性等**]の4つの要素に分けます。
- ④学習活動に関わる要素[A]を文の初めに置き、そこに**3つの資質・能力[B、C、D]に関わる文**を続けます。
- ⑤3つの資質・能力[B、C、D]に関わる文が、「～している」という意味になる**表現**に変えます。

#### 例：内容(7) 動植物の飼育・栽培

動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。(内容(7)の記載事項)

↓単元の目標へ

モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ[B]、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付く[C]、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にすることができるようにする[D]。

↓単元の評価規準へ

##### ○知識・技能

モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットにあった世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている[C]。

##### ○思考・判断・表現

モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている[B]。

##### ○主体的に学習に取り組む態度

モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとしている[D]。

#### (3) 事例概要（参考→国立教育政策研究所資料 P. 41～70）

- 事例 1**：指導と評価の計画から評価の総括まで・3つの観点の評価・1単元を1内容で構成した場合の評価
- 事例 2**：「知識・技能」の評価・1単元を1内容で構成した場合の評価
- 事例 3**：「思考・判断・表現」の評価・「主体的に学習に取り組む態度」の評価・1単元を2内容で構成した場合の評価
- 事例 4**：「主体的に学習に取り組む態度」の評価・「思考・判断・表現」の評価・1単元を2内容で構成した場合の評価

### 3 参考資料

- 『教育課程編成の指針』神奈川県教育委員会：平成30年1月  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/kyouikukateisisinn.html>
- 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』国立教育政策研究所：令和2年3月  
<https://www.nier.go.jp/kaihatu/shidoukiryou.html>
- 『発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き』国立教育政策研究所：平成30年3月  
<https://www.nier.go.jp/kaihatu/shidoukiryou.html>